

放課後子どもサポートプログラム「まっく（全地区）」ボール教室

8月31日と9月3から5日までの4日間、放課後子どもサポートプログラム「まっく（全地区）」の「ボール教室」が開催され、小学校1年生と2年生の延べ93名が参加しました。

この教室は、「ボールを蹴ること」「ボールを投げること」を中心に各学年2日間の日程で行われ、参加した子どもたちは、基本的な動作を練習してからボールを使ったミニゲームを楽しみ、ストラックアウトやシュートゲームなどに夢中になって取り組んでいました。

なお、小学校3年生を対象にした教室は地震の影響により実施できなかったため、今後日程を変更して開催する予定です。



平成30年度日高管内青少年体験活動推進事業「ひだか未来塾」

9月2日、中学生・高校生が地域活動に主体的に参画する意欲や態度を身に付けることを目的に、日高管内社会教育職員研究協議会主催による「ひだか未来塾」が新冠町レ・コード館で開催されました。

当日は、管内各町から29名が集まり、日高町からは、富川高校生5名が参加しました。「ふるさと日高の未来のために～今、私たち中高生にできること～」を研修テーマに、グループワークやアクションプランづくり、成果発表などが行われ、他町の参加者との交流や地域課題の解決に向けた協議をとおり住民が主体となった取り組みの必要性を学びました。



サッカーフェスティバル「第5回日高町長杯少年サッカー大会」

9月22日と23日の2日間、森の広場サッカー場で、日高町、日高町教育委員会、国立日高青少年自然の家共催による「第5回日高町長杯少年サッカー大会」を開催されました。

大会には近隣町をはじめ、遠くは江別市やえりも町などから8団体11チームが参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。

2日間の熱戦の末、日高町の小学生が加入しているASC北海道U-12（合同チーム）が、元気いっぱいのプレーで見事優勝しました。



日高町地域子ども会主催事業 「地びき網体験」

9月23日、日高町地域子ども会育成連絡協議会主催の「地びき網体験」が開催され、小学生や保護者など合わせて113名の参加がありました。

当日は、あいにく波の影響で地びき網体験は中止となりましたが、予定していた清掃活動及び漁協青年部の協力で漁船体験を行い、漁協女性部から振る舞われた鮭のチャンチャン焼きを味わいました。

海を清掃することで、美味しい海の幸を味わうことができ、海や自然を大切にすることに気づくことのできる一日となりました。



「平成30年度日高町教育長杯少年野球大会及び少年野球教室」

9月29日、町営日高球場で、日高地区生涯学習事業推進協議会主催による「平成30年度日高町教育長杯少年野球大会」を開催されました。

大会には日高、上川管内の近隣町から5チームが参加し、地元日高振内ヤンキース藤江悠太郎主将の力強い選手宣誓のあと、白熱した試合が繰り広げられました。決勝戦は地元JBC日高ブレイヴと三石リトル野球協会が対戦し、堅い守備と長打力のあるJBC日高ブレイヴが12対3で三石リトル野球協会を下し、見事優勝しました。

また、翌日の30日には、「北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ野球教室」を開催し、元プロ野球選手の杉山俊介氏、村田和哉氏から捕球や送球、バッティングや走塁など細かな指導を受け、参加した小学生65名は、将来のプロ野球選手を夢見て白球を追いかけようとした。

